

ホームページ公表用 事業所における自己評価総括表

○事業所名	どろんこジュニア		
○保護者評価実施期間	令和7年11月19日		～ 令和7年11月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50	(回答者数) 38
○従業者評価実施期間	令和7年11月10日		～ 令和7年11月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりの特性や気持ちに寄り添い、安心して過ごせる環境づくりを大切にしている点。 運動あそびや感覚あそびを通して、身体の使い方や情緒の安定を育てる支援を日常的に取り入れている点。	定期的なミーティングや勉強会を通して、支援内容や関わり方の共通理解を図っている。 運動・感覚活動では、難易度や役割を調整し、一人ひとりが安心して参加できるよう工夫している。	職員一人ひとりの支援力向上を目的とした研修や事例検討の機会を、今後も計画的に実施していく。 運動・感覚、SSTに関する知識や実践力を高めるため、研修や事例検討を継続的にやっていく。
2	経験年数や専門性の異なる職員が連携し、多角的な視点で支援を検討・実践できている点。 集団活動や日常場面を活用したSST（ソーシャルスキルトレーニング）を行い、対人関係や自己表現の力を育てている点。	視覚的な手がかりや見通しを大切に、子どもが安心して活動に参加できるよう配慮している。 SSTの視点を活動や遊びの中に自然に取り入れ、場面に応じた声かけや振り返りを行っている。	保護者の思いや困り感をより丁寧に汲み取れるよう、相談機会やフィードバックの充実を図る。 子ども自身が気持ちや考えを言葉で表現できるよう、振り返りや対話の時間をより充実させていく。
3	日々の活動や行事を通して、成功体験を積み重ねられる支援を継続している点。 子どもの「できた」「やってみたい」という気持ちを大切に、成功体験を積み重ねられる支援を行っている点。	送迎時、連絡帳やLINEを活用し、保護者との情報共有や連携を丁寧に行っている。 職員間で子どもの様子や支援方法を共有し、統一した関わりができるよう定期的に話し合いを行っている。	子どもたちが主体的に活動できる場面を増やし、自己肯定感や社会性の育ちにつながる支援を強化していく。 保護者と支援のねらいを共有し、家庭とも連携しながら子どもの育ちを支えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもの特性や支援方法について、職員間で理解や捉え方に差が生じることがある点。	経験年数や専門分野の異なる職員が在籍しており、支援に対する視点や優先順位が異なるため。	支援方針や関わり方について共通理解を深めるため、定期的なケース検討や振り返りの時間を確保する。
2	記録や書類業務の負担感が大きく、業務の効率化に課題がある点。	支援・送迎・事務作業など業務内容が多岐にわたり、時間的な余裕を確保しにくい状況があるため。	記録様式や業務手順を見直し、職員の負担軽減と業務効率の向上を図る。
3	日々の支援の振り返りや情報共有の時間が十分に確保できない場合がある点。	忙しさから、口頭での共有に偏り、記録や整理が後回しになってしまう場面があるため。	短時間でも情報共有ができる仕組みを整え、チームとして支援の質を高めていく。

ホームページ公表用 事業所における自己評価結果

事業所名		どろんこジュニア		公表日	令和8年1月	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12	0	活動や人数により、他事業所も利用し工夫している。グループの職員の人数を都度調整、ヘルプ申請をして適切になるようにしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	0	職員が足りない時には、他事業所にヘルプを出して対応できていると思う。放デイの人員配置に比べると多くの職員を配置することができているが個別対応が必要なことがあるので場合によっては足りないと感じることがある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	2	職員で構造化された環境は意識している。	所々年式の古さゆえ設備が整っていないと感じる所もある。時計がアナログのみだったり、場所の視覚情報は少ないと感じます。場所ごとに「ここは〇〇」みたいな目印等。季節の飾りなど、事業所が彩られる事は素晴らしい事ですが、飾りを見たいあまり、必要な事への集中がむずかしくなってしまう子が居るのも事実です。そのあたりの匙加減は職員間で話し合いながら慎重に決めていく必要があると感じます。スケジュールを貼りだす場所等固定できるとわかりやすい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	0	子どもたちの特性に合わせて、できるだけ刺激を減らすことができるように工夫している。日々心地よく過ごせるような環境にしたいとは思っているが、活発な活動が多く、維持していくことが難しい。	毎日清掃を行ってはいるが偏りや乱れることもあるので、保っていきけるよう継続していく必要がある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	0	一部分ではあるが、用意できる状態。場合によって他部署のスペースを一時的に借りて対応している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	12	0	業務改善についての具体的な話し合いを行ない、取り組みについて、どうだったかについても話し合いをしている。チームに分かれて、業務の進捗状況を共有している。朝礼やMTを行って改善に努めている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0	業務改善のための話し合いを設け、負担となっている点を自分達で意見し合い考え、試してみる機会を設けられたことが良かった。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11	1	むぎのこさんに地域巡回にお越しいただいた際にお話を伺っている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	0		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	0	行動分析のため、ストラテジーシートを活用したり、長所活用型の支援に繋げていけるようアセスメントをすることがある	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	0	毎週低学年・高学年チームでミーティングをする時間を設けている。ミーティングなどで次の週の話し合いをして何をするかを決めている。	

適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	0	日々、職員同士で話し合い工夫している。常に30程度の活動プログラムを用意している。その中から選ぶものと、スタッフや子ども達で考えたものを実施できるように工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12	0	必要に応じて個別に過ごす時間はあるが、基本的には集団・小集団活動で支援を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	0	送りから戻ってきた職員で話し合ったり、LINEを使って情報共有を行っている 送迎後、職員同士でフィードバックを行ったり、社内LINEを使用して情報共有を行なっている。翌日の朝礼で報告をし、支援でうまくいった時の話も振り返り共有している 重要なことはグループLINEでも共有し、その日お休みだった職員や、退勤した職員にも周知できるようにしている。 数日以内に振り返りを行い、利用者たちのきらりとしたときの情報収集をしている 次の日の朝に情報共有を行っている。難しい時にはlineで共有しているところは工夫していると思う。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	12	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	12	0	子どものプロセスを評価し、本人が自己選択、自己決定できるような関わりを意識している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	0		
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	0		
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	12	0	LINEや連絡ノートを利用して共有することができている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	12	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	12	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10	2	児童発達支援センター開催の研修に参加している	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9	3	公園活動で一般の子と一緒に活動することはある 児童会館や若者活動センターを活用する機会を作り、交流する機会ができてくる	公園や海などで偶然同じ場を共有することはあるが、活動を共にする機会は少ない。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	12	0	可能な時は機会に参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12	0	茶話会を設けたり、研修会のお知らせをしている。	ペアトレをしていきたい。 1対1の個別の場面限定になってしまうが、CARE(子どもと大人の絆を深めるプログラム)のスキルを伝えていく機会を作りたい。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	0			
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	0			
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12	0			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	0	ご家族からの必要性に合わせて、オンライン相談、対面相談を行なっている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	12	0		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	12	0	月1回のお便りを紙、PDFにて配布している。LINEを活用している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	12	0	事業所の行事に地域住民の方にご協力いただくときがある ご近所さんと関わりをもてるような活動も行っている	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	0		
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	1	家庭から定期的にアレルギー情報を確認している 家庭からの申告で、アレルギー対応をしている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	12	0			

ホームページ公表用 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	どろんこジュニア				公表日	令和8年1月			
		利用児童数	50		回収数	38			
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	36	1	0	1	「職員の配置数」については、「わからない」という回答を6件いただきました。一般的に放課後等デイサービスでは、児童10名に対して職員2名が最低基準となっております。ジュニアでは、児童5名に対して2～3名の職員を配置しており、基準を上回る体制を整えています。一方で、子どもたちの特性やその日の体調、活動内容によっては、「もう少し人がいるとより手厚い支援ができるのでは」と感じられる場面もあります。子どもたちが安全に、安心して過ごせるよう、今後も人員配置や動線の工夫を続けながら、より良い支援環境づくりに努めてまいります。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	31	1	0	6			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	32	3	0	3			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	34	1	0	3			
適切な 支援の 提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	38	0	0	0	・補食の対応など色々子どものために提案してくれる ・家庭では気づかない視点からアドバイスをいただけることもあり助かっている ・特性に応じて個別の支援もあると良いと思います ・適切な評価ありがとうございます 補食や日々の活動の中で、私たちが気付いた点について評価いただいたこと、大変励みになっております。 個別支援につきましては、可能な限りお子さまの特性やその日の状態に合わせて声かけや環境調整を行い、必要な際には個別にお話を伺う時間も設けて対応しております。 ただ、放課後等デイサービスの特性上、常時マンツーマンでの支援や長時間の個別対応が難しい場面もございます。今後更なる工夫ができるかを職員間で共有しながら、できる限りお子さまに寄り添える支援を続けてまいります。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	36	0	0	2	以前支援プログラム一覧を配布しておりますが、また配布させていただきたいと思っております。		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	38	0	0	0	・聴き取りがあったうえで的確な計画を立ててくださり、家庭での接し方の参考にもなっています ・子どもの特性をしっかりと把握したうえで寄り添った支援をいただいております		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	37	0	0	1	子ども家庭庁にてガイドラインが公開されております。具体的な支援内容を設定するよう心がけてまいります。		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	38	0	0	0			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	36	2	0	0	・夏休みや冬休みに違う活動があって良い ・長期休みの際には毎日のように充実したプログラムが組まれていて感謝しています 今後も子どもたちが楽しめる活動を考えたり、子どもたちの意見を取り入れたプログラムを企画してまいります。		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	12	2	3	21	放課後児童クラブや児童館は利用人数が多く、安心して参加できる形での交流機会を設けることが難しい状況がありますが、子どもたちは地域の中で成長していく存在であり、無理のない形で外とのつながりを持つことは大切だと考えています。 少人数で参加できる地域イベントの情報収集や外出活動のバリエーションづくりなど、子どもたちが安心して参加できる範囲で、地域と自然に関わる機会を少しずつ広げていけるよう取り組んでまいります。		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	38	0	0	0			
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	38	0	0	0			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	34	1	0	3	茶話会などもあり大変ありがたく存じます ペアレントトレーニングを専門的に行っている団体や研修会のお知らせなど引き続きご紹介していきます		
15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	38	0	0	0	・いつもありがとうございます ・支援者会議に出席していただいたり、常に状況を説明してくれる 支援者会議、関係機関連携での学校訪問も可能ですので、お気軽にご相談ください			
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	37	0	0	1	面談があるのでゆっくり話せる機会があります お問い合わせがあればお気軽にご相談ください			
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	38	0	0	0	・共感的に支援されていると感じています ・ノートや送迎時面談等で様子を教えてください お問い合わせがあればお気軽にご相談ください			

保護者への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	34	0	0	4	・茶話会があつて他の保護者から色々聞けて良い ・保護者同士の交流ができる機会を作っていたいただいており、情報交換や相談がしやすい、ありがたいです。きょうだい同士の交流や理解が深まるいい機会をいただいております。	年に2回ほど茶話会を開催し、保護者の皆様同士が気軽にお話しできる場を設けております。お便りだけではなくLINEでもお知らせさせていただきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	35	2	0	1	・行事等なかなか参加できず、子どもが悲しみ、もう行かないとなることがある。職員配置のことなどもあると思うが、どのような子でも参加できる体制、環境をもう少し整えてもらえるとう嬉しい。対応できない、難しいこと言われているようで親としても少し傷つき、参加できるように思えてしまう ・とて迅速に親身にお話を聞いてくださるので大変感謝しております ・相談事あるときは丁寧に対応してくれている ・安心して相談できています	今後も保護者の方と丁寧に話し合いながら支援を進めていきたいと考えております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	38	0	0	0	子どもの前で話し難い内容の時はメールや電話にてお話しさせていただいています	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	36	0	0	2		月1回のお便りを紙とLINEにてお送りさせていただいております。今回の評価の結果もLINEにて共有させていただきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	35	0	0	3		日々の支援の中で、これらの取り組みを細かくお知らせする機会が多くないため、保護者の皆様が判断しづらいのはもっともなことだと受け止めております。 当事業所では、個人情報が必要な範囲で厳重に管理し、外部への漏えいがないよう取扱いを徹底しています。 事故防止、緊急対応、防犯、感染症対策などのマニュアルを整備し、年に数回の訓練を含めて職員間で共有・実践できるようにしています。 これらは安全で安心できる環境づくりの基盤として取り組んでいるもので、改めて必要に応じて保護者の皆様にも分かりやすくお伝えしていければと考えております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	36	0	0	2		家庭には災害時の避難先をプリントにてご連絡しております。 法人としては委員会を設け、定期的に安全計画の見直しを行っておりますが、都度ご家庭に周知はしていないのが現状です。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	38	0	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	35	0	0	3		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	38	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	37	0	0	1		安心感を持って通所していただけるよう努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	35	3	0	0	・とても楽しみにしております ・はい！今日はこんなことしてきたよとニコニコ笑顔で伝えてくれます	日々の子どもの笑顔やご家庭から寄せられるあたたかいお言葉に、スタッフ一同励まされております。これからも、お子さまが安心して過ごせる場であり続けること、通うことを楽しみにしてもらえ、そして支援に満足していただける事業所であることを目指し、より良い環境づくりに努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	37	1	0	0	とても満足しております	